

謹んで
新年のごあいさつを
申し上げます

年頭の御挨拶



月潟村長
金子由征

新春を迎え、皆様の御健勝を心からお喜び申し上げます。昨年中は公私にわたり、議会及び村民の方々をはじめ、多くの関係各位からは、極めて厳しい財政並びに社会情勢下にもかかわらず、御指導・御協力を賜り、心から感謝をしたく、厚く御礼を申し上げます。

新しい年に心を新たにしてい取り進む課題は山積みとなっており、御承知のとおり、平成三年から三年計画で中学校移転建設を決定し、月潟村の大事業として位置づけられ、今年には建設計画の具体的構想と、移転地の決定に取り組みでまいります。学校建設計画により、財政的に住民の方々の多様な要望に御迷惑を御掛けすることも多少あると思われませんが、限られた財源を効果的に最少経費で最大の効果を挙げられるよう計画的な行政を推進していきたいつもりであります。

需給均衡化緊急対策事業」は本年度が最終年度であります。本年も引き続き継ぎ稲作・転作を通じて生産性の向上・地域輪作農法の確立を目的とする施策を行政と農業団体が一体となり推進すると共に、最近の米需給情勢から生産・流通・消費の各般にわたる施策を推進いたします。このため、新農業構造改善事業後期対策に取り組み、今年度は国の指定を受け具体的な施策を総合的に組み合わせる諸施策を図ってまいります。

土木関係につきましては、農村総合整備モデル事業の継続事業として集落道四十五号・九十四号及び九十九号道路改良の早期完工を促進し、併せて待望の農村環境センターの建設に着手することとしておるのですが、国県の財政も厳しい折から平成元年より三か年計画で三年の竣工見込みも厳しい状況下であります。早期竣工に総力をあげ努力いたします。

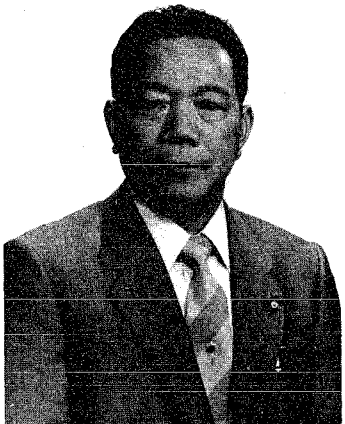
健康診査並びに人間ドックを推進いたします。疾病においても、第一に予防・第二に早期治療を行っていただくと共に、疾病に対する

る正しい知識を持ち健康の自己管理ができるよう指導を行い健康で長寿の村づくりの推進に努めたいと思っております。住民の生命・財産を守るた

め引き続き単独事業で防火水槽二基・消化栓二箇所を計画し消防施設の充実を図ってまいります。これらの行政をスムーズに

力を賜りますようお願い申し上げます。健康は村民福祉の基本であります。今年も引き続き基本

年頭のごあいさつ



月潟村議会議長
星野与一郎

新春を迎え、謹んで皆様の御健勝をお喜び申し上げます。また、平素本村議会に賜りました御指導、御支援に對し、議会を代表し、厚く御礼を申し上げます。次第であります。願いますと昨年は、税制改革に明け暮れた一年でありました。消費税導入を柱とする今回の税制改革は、長寿社会の到来に對応できる長期安定税制の確立ということで、昭

和二十五年のシャープ税制以来の抜本的な改革であり、リクルート疑惑も絡み、国内政治を揺がせながら、年末ようやく決着を見るに至ったことは周知のとおりであります。本村におきましては、学校の整備、歩道の整備、あるいは消費パイプの敷設など、諸事業それぞれ充実・推進が図

られたところであり、特に、待望久しかった農村環境改善センター建設事業の着手、中学校建設計画の具体化など二十一世紀に向けての環境整備が着実に進められており、すことは誠に喜ばしい次第であります。さて、新年度の政府予算編成作業が進んでおりますが、内需拡大による景気回復により、昨年対比で六割増の昭和五十七年以來の高い水準となっております。また、政府目標の「平成二年財政再建」も達成の目処がついたと言われて

しい状況に置かれております。さらに、地方自治をめぐる社会経済情勢は、高齢化、高度情報化、国際化のいわゆる3Kの急激な進展に加え、住民の価値感の多様化、さらには農産物市場開放をはじめとする農業問題など、一段と厳しくなることが予想されます。このような中において、地方社会の総合的経営主体であり、最も身近な行政主体である地方公共団体としては、様々な分野においてこれらの大きな流れに的確に対応することが強く求められており、地域の特性に応じた施策の展開が期待されているところであり、また、このような情勢下においてこそ、地方自治の要としての地方議会の果たすべき役割も、ますます重要性を増しているものであり、広範・多岐にわたる地域住民の意向を迅速・的確に把握し、これを適切に行政に反映するとともに